社会資本総合整備計画(市街地整備)

ままれましゅうへん ち く 蘇原駅周辺地区

ぎふけん かかみがはらし 岐阜県 各務原市

令和3年2月

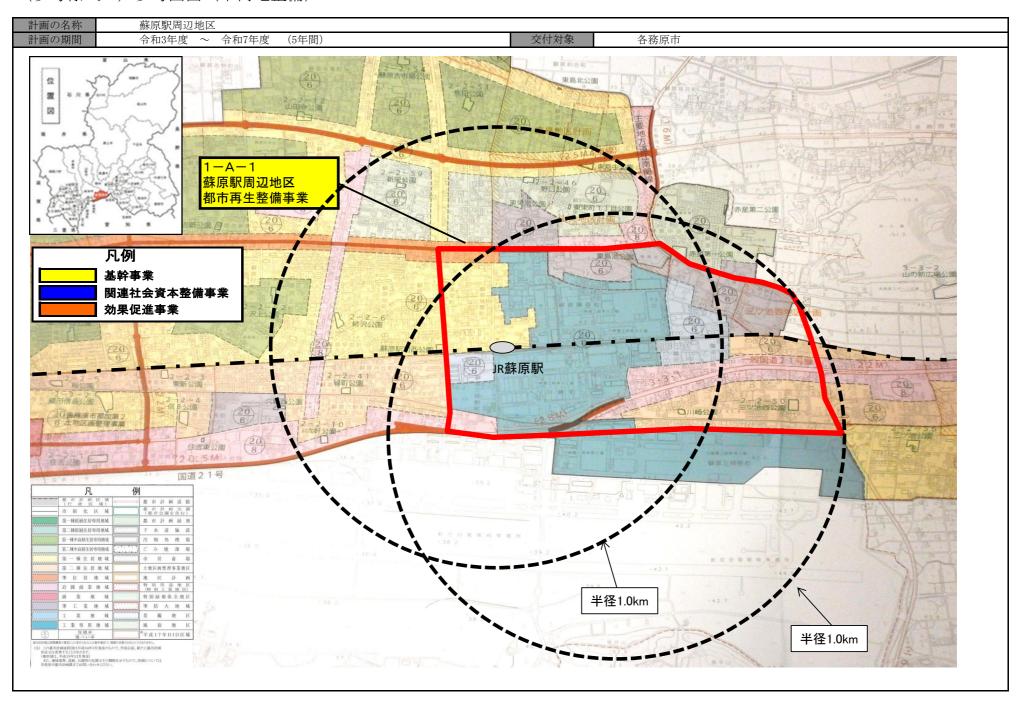
計画の	の名称		蘇原駅周辺	.地区																重点配分類	対象の該当	
計画の			令和3年度	~ 令和7年	年度 (5年間)				交付対象		各務原市											
計画の目標 大目標:『駅周辺の安全・安心なまちづくり』 目標1:駅利用者の利便性を向上する。 目標2:駅周辺を利用する歩行者の安全性を確保する。																						
計画の成果目標(定量的指標)																						
計画の成果目標(定量的指標) 1. 駅利用者の満足度・・・駅前広場整備により駅利用者の満足度の向上を図る。 2. バス利用者数・・・・・・・・・・・・・・・使い勝手の良い交通結節点の整備を実現することにより、バス利用者数の増加を図る。 3. 歩道整備に対する満足度・・・・・・・・・・地区内の道路の整備により、歩行者の安全性や歩きやすさを確保することにより、利用者の満足度の向上を図る。																						
定量的指標の定義及び算定式 定量的指標の現況値及び目標値													備考									
													見況値		1標値		1標値			VII 3		
	駅利用者を対象としたアンケート調査結果により、駅前広場の満足度に対して、『やや満足』『満足』の回答数の割合 19% - 61%																					
	JK穌原駅:	北バス得	のバス利用	首数								100 1	V / FI			450	1 / E					
-	駅前周辺道路の歩行者を対象としたアンケート調査結果により、駅前周辺道路の満足度に対して、『やや満足』『満足』の回答数の割合 30%									- 450人/月 - 73%												
3	全体事業費	ŧ		計 + C + D)	481.1百万円	A	481.1百万円(内提案事 業費分4百万円)	В	0 百万円	С	0 百万円	D	0 译	百万円		進事業費 A + B +				0.0%		
交付対象	事業																					
A 基幹																						
番号	事業種別	地域 種別	交付 対象	直接間接	事業者			要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)	市町村名		R3	事業実 R4	施期間 R5	(年度) R6	R7	全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
1-A-1	都市再生	一般	各務原市	直接	各務原市		蘇原駅周辺地区都	8市再生要	整備事業	駅前広場	、道路 143.0ha	各務原下	Ħ						481.1			
				l																		
																合計			481.1			
B 関連	往会資本	整備事業	き(該当なし)																		
番号	事業	地域	交付	直接	事業者		要素	となる事業	業名		事業内容	市町	村名	DO.		施期間		D.E.	全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画	備考
l	種別	種別	対象	間接						l .	(延長・面積等)			R3	R4	R5 合計	R6	R7	0		策定状況	
																			U			
C 効果	促進事業		1.77		T		т			1		-La mas	L L &	ı		II. Harra	(tt-)		1	No. da	İ	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接	事業者		要素と	となる事業	業名		事業内容	市町港湾・		R3		施期間		R7	全体事業費 (百万円)	備考		
	性別	性別	刈家	印仮								101号	地区和	K3	R4	R5	R6	K/				
				 				-														
				*						1					U	合計	U	U	0			
番号	一体的に	実施する	ことにより打	期待される効	効果															備考		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付 対象	直接間接	事業者			要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (面積等)	市町村名		R3	事業実 R4	施期間 R5	(年度) R6	R7	全体事業費 (百万円)	備考		
	•	•							-			•				合計		•	0			
番号	一体的に	実施する	ことによりが	期待される効																備考		
							-															

(単位:百万円)

					(単位:日77円
	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)	-	_	_	-	-
計画別流用 増△減額 (b)	-	_	_	-	-
交付額 (c=a+b)	-	-	-	-	-
前年度からの繰越額 (d)	-	_	_	-	_
支払済額 (e)	-	_	_	-	-
翌年度繰越額 (f)	-	_	-	_	-
うち未契約繰越額 (g)	-	_	_	-	_
不用額 (h = c+d-e-f)	-	-	-	_	-
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	-	-	-	-	-
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	ı	-	-	ı	-

[※] 令和3年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3)参考図面(市街地整備)



都市再生整備計画

まはらえきしゅうへん ち く 蘇原駅周辺地区

岐阜県 各務原市

令和3年2月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	
都市再生整備計画事業	
まちなかウォーカブル推進事業	

都道府県名	ぎ ^{ふけん} 岐阜県	市町村名	かかみがはらし 各務原市		地区名	そはらえきしゅうへんち 〈 蘇原駅周辺地区			面積	143 ha
計画期間	令和 3	年度 ~	令和	7	年度	交付期間	令和	3 年度 ~ 令和	7	年度

目標

大目標 駅周辺の安全・安心なまちづくり

目標1:駅利用者の利便性を向上する。

目標2:駅周辺を利用する歩行者の安全性を確保する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、各務原市の中心に位置し、「各務原市都市計画マスタープラン」において、航空機産業の集積を図る産業拠点や住宅及び商業、医療、福祉機能等の都市機能の集積を図る地域生活拠点として位置づける地区である。 当駅は、1日当たりの平均乗降客数が1,000人を超える駅で通勤通学の利用者が多い一方、駅前広場が未整備のため、ふれあいバスやタクシー、送迎車等の乗り入れが出来ないことや、自転車等が乱雑に置かれ、通行に支障をきたしていること など、利用者への利便性が課題となっている。また、当地区周辺道路には歩道が未整備となっている箇所があり、歩行者への安全が確保されていない状況である。

このことから、交通結節点となる当駅を中心としたまちづくりを実現するため、駅前広場を整備し、公共交通機関と連携して、ふれあいバスの運行路線に取り込み、周辺の東海中央病院や市民会館、その他施設へのアクセス整備を図るものである。 また、駐輪場を整備して美しい駅前空間の実現を図るものである。さらに歩行者への安全を確保するため、カラー舗装により歩道空間を整備し、安全で安心して移動しやすい市街地形成を目指すものである。

課題

- ・駅前広場が未整備のため、各務原市ふれあいバスや自動車による送迎・待合せのための交通スペースを確保することが課題。
- ・駅前では歩行者と車両が混在し、危険な状態となっている。
- 駅前駐輪場の未整備。
- ・地区内の歩行者にとって、交通の安全確保を図ることが課題。

将来ビジョン(中長期)

(各務原市都市計画マスタープラン)

少子高齢社会への対応、環境負荷の低減、効率的な都市経営といった視点から、公共交通を軸とした集約型都市構造を形成していくことが本市の重要な課題となるなか、JR蘇原駅を中心として魅力と活力あるまちづくりを推進していく。

目標を定量化する指標

MC/CIP O THIS							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1.駅利用者の満足度		駅利用者を対象としたアンケート調査結果により、駅前 広場の満足度に対して、『やや満足』『満足』の回答数の 割合	駅前広場整備により駅利用者の満足度の向上を図る。	19	令和2年	61	令和7年
2.バス利用者数	人/月		使い勝手の良い交通結節点の整備を実現することにより、バス利 用者数の増加を図る。	428	令和元年	450	令和7年
3.歩道整備に対する満足度	%	駅前周辺道路の歩行者を対象としたアンケート調査結果により、駅前周辺道路の満足度に対して、『やや満足』『満足』の回答数の割合	地区内の道路の整備により、歩行者の安全性や歩きやすさを確保することにより、利用者の満足度の向上を図る。	30	令和2年	73	令和7年

計画区域の整備方針	方針に合致する <u>主要な事業</u>
・駅利用者の利便性を向上する。	■基幹事業
動線に配慮した駅前広場の計画的な整備をおこなうことにより、鉄道、バス、自動車の交通機関相互の連携を強化する。	·地域生活基盤施設:駅前広場整備
	"地域主点基金他改. \\ 们应场定调
駅利用者の父週利使性の向上を図る。	
・駅周辺を利用する歩行者の安全性を確保する。	■基幹事業
カラー舗装により歩行者空間の整備を行い、歩行者(通勤通学者)の安全·安心を確保する。	・道路: 市道蘇南3号線整備
	•道路:市道鵜1号線整備
	・道路:市道蘇南127号線整備
その他	
1	
1	
1	
1	
1	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市再生整備計画事業)

交付限度額 交付対象事業費 481.1 192.4 国費率 0.4 (金額の単位は百万円) 基幹事業 (参考)事業期間 交付期間内事業期間 (参考)全体 交付期間内 交付対象 費用便益比 事業 事業箇所名 事業主体 直/間 細項目 開始年度 終了年度 開始年度 終了年度 うち官負担分しうち民負担分 事業費 B/C 道路 市道鵜1号線 各務原市 L=264m 3 3 7 27.1 27.1 27.1 27.1 市道蘇南3号線 各務原市 _=840m 7 116.0 116.0 116.0 116.0 道路 3 7 3 _ 各務原市 34.0 34.0 34.0 34.0 道路 市道蘇南127号線 L=270m 3 5 5 直 3 公園 古都保存·緑地保全等事業 河川 下水道 駐車場有効利用システム 駅前広場整備 地域生活基盤施設 各務原市 A=2360m² 2 5 3 5 300.0 300.0 300.0 300.0 _ 高質空間形成施設 高次都市施設地域交流センター 観光交流センター まちおこしセンター 子育て世代活動支援センター 複合交通センター 既存建造物活用事業 土地区画整理事業 市街地再開発事業 住宅街区整備事業 バリアフリー環境整備事業 優良建築物等整備事業 住宅市街地総合整備事業 街なみ環境整備事業 住宅地区改良事業等 都心共同住宅供給事業 公営住宅等整備 都市再生住宅等整備 防災街区整備事業 合計 477.1 477.1 477.1 0.0 477.1 提案事業 (参考)事業期間 交付期間内事業期間 交付期間内 (参考)全体 交付対象 事業 事業箇所名 事業主体 直/間 規模 細項目 開始年度 終了年度 開始年度 終了年度 うち官負担分 うち民負担分 事業費 事業費 事業費 地域創造 支援事業 事業活用調 事業効果分析調査 各務原市 直 4.0 4.0 4.0 4.0 まちづくり活 動推進事業 合計 …В 481.1 合計(A+B) (参考)都市構造再編集中支援事業関連事業 (いずれかにO) 事業 事業箇所名 事業主体 所管省庁名 規模 全体事業費 直轄 補助 地方単独 民間単独 開始年度 終了年度 合計 (参考)関連事業 (いずれかに〇) 事業 事業箇所名 事業主体 所管省庁名 規模 全体事業費 補助 地方単独 民間単独 開始年度 合計

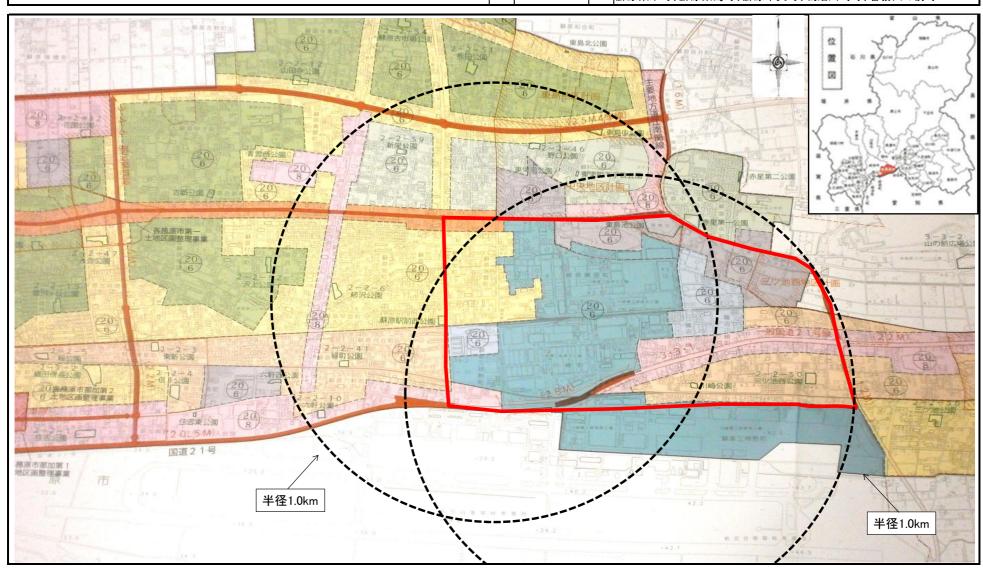
都市再生整備計画の区域

蘇原駅周辺地区(岐阜県各務原市)

面積

143 ha

。 蘇原栄町、蘇原瑞雲町、蘇原興亜町、蘇原三柿野町、川崎町 蘇原東栄町、蘇原東島町、蘇原中央町、鵜沼川崎町、各務山の前町



蘇原駅周辺地区(岐阜県各務原市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

